平成23年度　第50回　大分県高等学校新人ハンドボール大会

会場　：　大分県立舞鶴高等学校　多目的競技場

男子決勝

大分雄城台	45	19	――	9	15　大　分
		26	――	6	

戦評

決勝戦は、今年度発足した大分高校とインターハイ出場に続き新人戦優勝を目指す大分雄城台との対戦で予選リーグに続き今大会２度目の対戦となった。

序盤、大分雄城台はNo.１０前田のサイドシュートを皮切りに５―０と連取した。大分は、No.７畑迫のポストプレーから７ｍスローを得て１点を返すとＧＫNo.１２久知良が大分雄城台のシュートをことごとく防ぐと、大分雄城台は得意の速攻を活かせず接戦となった。しかし、大分雄城台が徐々に大分のポストプレーに対応しはじめ、大分のシュートチャンスがなくなると、すかさず大分雄城台は得意の速攻から得点を重ね前半を１９－９で折り返した。

後半も攻める大分に対して大分雄城台は、ディフェンスからリズムを作りNo.１１井上を起点に速攻やセットオフェンスから得点を連取し後半１５分には３３－１０と大きくリードを広げゲームを決定づけた。大分は、ポストプレー中心のセットオフェンスという良さを随所に見せたが、大分雄城台は最後までディフェンスからスピーディーな速攻というリズムを崩さず最終的に４５－１５で２年ぶり５回目の優勝を飾った。

平成２４年２月に沖縄県で開催される九州高等学校選抜大会では、両チームとも持てる力を十分に発揮して全国大会出場権を獲得してもらいたい。

大分県ハンドボール協会広報部

大分県ハンドボール協会広報部